

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念・経営目標及び社訓を会議室に掲示し、毎週朝礼時に唱和し実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		業務上守るべき法令及び就業規則・諸規定の整備をはかり、社会規範などのルールなど、法令等遵守(コンプライアンス)の重要性を社労士を招き研修会で説明し、遵守の体制を構築している。															16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		一企業として公正な取引に努め、全社員に向けてその重要性を説明し、社員も理解している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自社の事業活動が社会・環境に及ぼす影響について把握するとともに、対応する部署・経営管理室を設置し、組織体制・諸規定を構築している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産保護の重要性を研修会等で説明し、侵害の排除、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護に関する研修会に参加した担当部署において、適切に管理している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ステークホルダーの対応窓口を設置し、その声を真摯に受け止め、特に苦情はチャンスととらえ、信頼回復をはかり、双方向のコミュニケーションに取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	事業継続力強化計画の認定を受けている。 事業所において、地下タンクには3tの水を備蓄し、防災グッズの常備やAEDを設置するなど災害に備えている。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	現社長及び専務を熊本銀行及び肥後銀行主催の事業継承セミナーを受講させたり、幹部クラスの社員を中小企業大学校の後継者・次世代経営幹部のスキルアップ研修等を受講をさせる等、事業継承対策を行っている。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・教育・昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別や人権侵害がないことを確信し、各種ハラスメントを禁止する旨は就業規則に明記され、相談窓口を設置し、ハラスメントを防ぐ体制を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生に関し、外部講師を招き、各種の講習会を実施し、労働安全衛生に力を入れている。全社用車には、ドライブレコーダーを設置し、安全アシスト装備の社用車の導入にも力を入れ、安全運転管理を実施して、労働環境の整備に取り組んでいる。				3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社労士と顧問契約を結び、人事制度の改革を進めている。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		長時間労働は正の為の業務効率化や働き方改革への取り組み、土曜休暇を1日増やし、有休の積極的取得を推進している。又、水曜日をノー残業デーとして、早く帰るよう進めている。				3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		新入社員研修・管理職研修(中小企業大学校)や、安全コンサルタントによる講習会、資格取得の為の講習会の受講を推奨するとともに、費用の助成を行っている。					4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		病気の早期発見・早期治療の為、当社では人間ドック等の費用助成(配偶者含む)を行うとともに、感染症対策としての予防接種費用を半額補助し、社員及び家族の健康維持に努め、生産性の向上を目指している。				3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		年齢・性別にかかわらず、積極的に採用し、適材適所な配置で十分活躍できる職場環境整備に取り組んでいる。					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●					3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	勤怠管理ソフト(打刻)による有給休暇・勤怠管理による給与計算、グループウェア導入による、稟議書・経費精算書等のオンライン申請など、DXの推進による業務の効率化に取り組んでいる。									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	プライト企業に認定されている。				3	4					8	9			12				

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 新星			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																			
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		現場や事業所から出る産業廃棄物は分別し、廃棄物処理業者による収集運搬・適正な処理、マニフェストによる管理がなされている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		使用電力・太陽光発電量、ガソリン使用料を把握し、LED照明の使用を徹底し、削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いて自社の温室効果ガス排出量を計算し、公用車の一部をハイブリット車にし、排出量削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自社活動及び従業員の生活において、ペットボトルのリサイクルや、マイパックの活用によるレジ袋の削減、産廃の適正処理の徹底により、環境問題に積極的に配慮している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		裏紙の使用(リユース)、グリーン購入を推進し、紙のリサイクル、廃棄物の適正処理により、資源の再生利用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		設備工事会社として、汚水処理の適正な排水工事を施工するとともに、自社の水栓は、元栓の給水バルブを絞って節水に取り組み、自然由来の洗剤等の利用も促進している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		文房具・キッチンペーパー・トイレットペーパー等は、グリーン購入・エコマーク商品を積極的に購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	新年会や取引業者との総会等の宴会では食事タイムを設けており、各自席に戻って食事をし、料理を無駄にしないよう、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	公園にて年2回の草刈り・清掃ボランティア活動を継続して実施しており、緑の保全・環境保全に貢献している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	設備工事会社として、設計及び見積りの際、高効率機器の採用を推奨している。車庫の屋根に太陽光発電パネルを設置し再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 新星

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001の品質マネジメントシステムにより、品質確保の仕組みを構築している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		マンションや不特定多数の人が利用する施設などでの機器選定にあつてはユニバーサルデザインの設備機器の紹介・提案を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		電気工事組合を通しての災害時の協定を締結、道路清掃活動、公園の美化活動等を実施しており、使用済み切手の回収・寄付といった社会貢献活動を行っている。ロアッソや熊本ボルタースのサポナー企業となり、地域の盛り上がり貢献している。ロアッソ熊本支援自販機設置し、売上の一部を寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業継続力強化計画の認定を受けている。事業所において、地下タンクには3tの水を備蓄し、防災グッズの常備やAEDを設置するなど災害に備えている。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	電気工事組合を通しての災害時の協定を熊本県・熊本市と締結しており、有事には、電気・設備業者として、復旧活動に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内において、SDGsの研修会を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地域の専門学校生などの職場体験・インターンシップを毎年受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	毎年、地元の学生を数名採用している。また、熊本県の「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」に参加登録し、就職フェアへの参加するなど熊本に就職する若者の支援をする取り組みを行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。